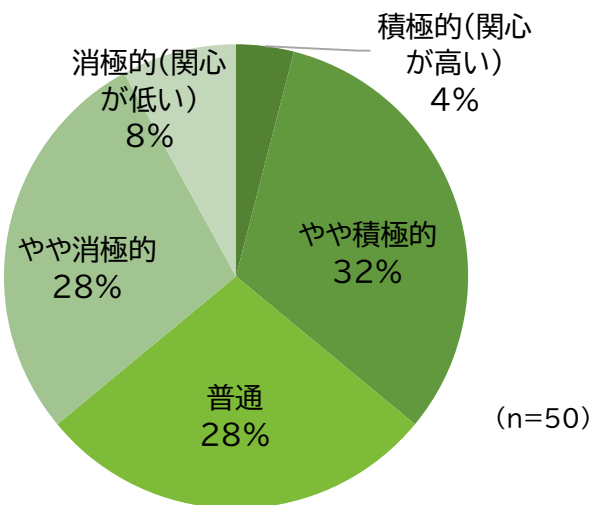


カーボンニュートラル（CN）対応にかかるアンケート結果

第2回CNサポート連絡会
R4.9.29 配付資料
東海財務局

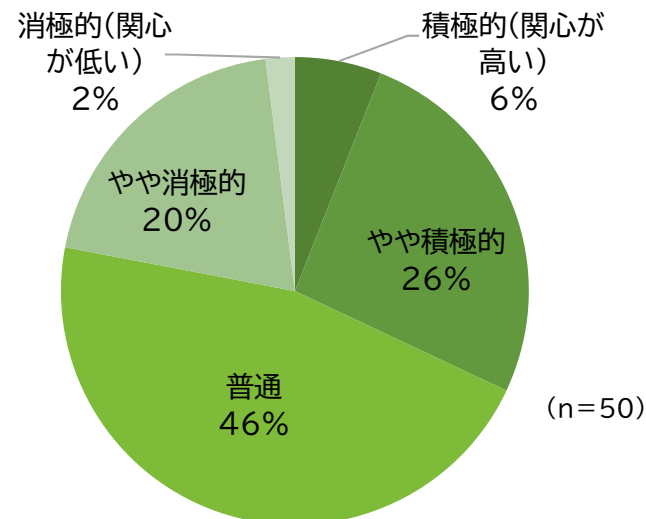
1-1 取引先のCNへの取組み意欲（姿勢）について【現状の評価】

(1) 製造現場におけるCO₂等の排出量削減への対応



- 「積極的」・「やや積極的」の合計と、「やや消極的」・「消極的」の合計はいずれも36%
- 「(やや)消極的」と評価する割合が3分の1超あり、こうした姿勢の要因分析とそれを踏まえた対応が今後の課題。

(2) EV化等の製品の変化への対応



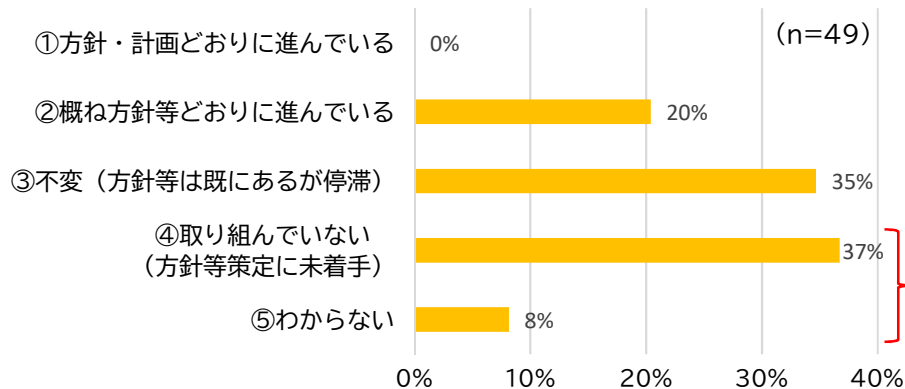
- 「積極的」・「やや積極的」の合計は32%、「やや消極的」・「消極的」の合計は22%
- 『(1) 排出量削減への対応』との比較では、「(やや)消極的」の割合は低いものの、将来的な事業継続性に関するテーマでもあることから、当該割合を減らしていく支援等の取組みが重要。

【調査対象】 主要行、東海財務局管内に本店が所在する地域金融機関等 【調査期間】 令和4年8月2日～8月24日

(注) 本アンケートは、各金融機関が取引先企業（自動車部品製造・加工等企業）に関し把握している情報等を踏まえ、その平均的な評価に基づき回答。

1-2 取引先のCNへの取組みに対する進捗状況【半期前との比較】

(1) 製造現場におけるCO₂等の排出量削減への対応

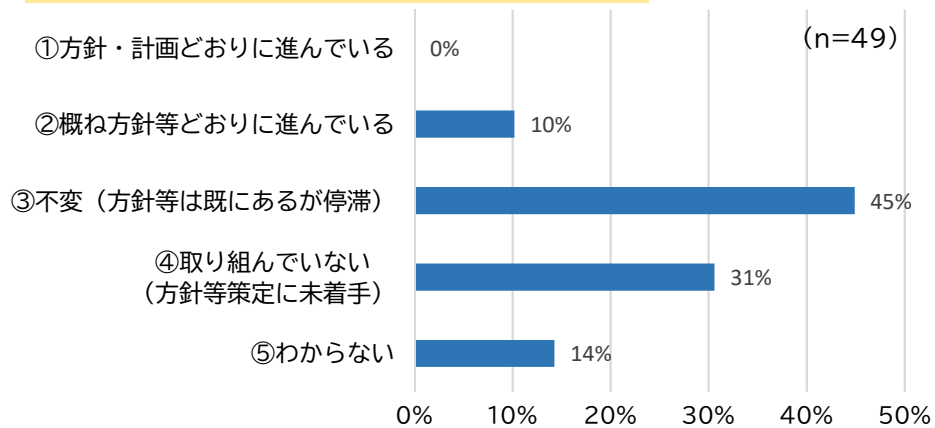


● 「④取り組んでいない」が4割近くあり、必ずしも対応が進んでいない状況がうかがえる。

(1)- ii そのように評価する理由 (左記(1)で④⑤を回答した場合)

- (主な回答)
- CNの必要性に対する認識・危機感が希薄。
 - CNの必要性は認識しているものの取組みはできていない (ノウハウ不足・コスト負担等)。
 - 元請企業からの指示等を待っている (指示がないため取り組んでいない)。
 - 検討・準備に向け研修等に参加し、知見を深めている。
 - 取引先のCNの取組みの進捗を具体的に把握する活動、定点観測を行っていない。

(2) EV化等の製品の変化への対応



● 『排出量削減への対応』に比べ、「④取り組んでいない」は約3割と少ないものの、他方で「③方針等は既にあるが停滞」の割合も多く、方針等に従って対応が進んでいない状況がうかがえる。

2. 取引先のCNの取組みにおける重要項目 (3つまで選択)

